

イチオシ!

M OVIE

『デザート・フラワー』

13歳で家を飛び出したどり着いた先のロンドンで、メイド、路上生活者、バーガー店の掃除婦…と厳しい生活を送ってきたソマリア出身のワリス・ディリー。ある日偶然、有名カメラマンに見いだされ、トップモデルとして成功するも、友人マリリンとの共同生活で自分の身体がほかの女性と違うことを知る。それは3歳の時に母国で受けたFGM(女性性器切除)の傷跡だった。華やかな職業にありながら、FGMがもたらす障がい初めて公に語ったディリー。国連特別大使としてその廃止を訴える彼女の、波乱に満ちた半生を描いた作品。(文=高倍宣義)



© Desert Flower Filmproductions GmbH

2009年 / ドイツ・オーストリア・フランス / 127分
 監督・脚本：シェリー・ホーマン
 製作：ピーター・ヘルマン
 原作・監修：ワリス・ディリー
 公開：12月25日(土)より新宿武蔵野館(東京)ほか全国順次公開
 URL：www.espace-sarou.co.jp/desert

E VENT

写真展「ルワンダ ジェノサイドから生まれて」

1994年、わずか100日間で80万人以上が命を落としたルワンダのジェノサイド(集団虐殺)。女性への性的暴力は、およそ2万人の子どもを誕生させることとなった。肉体的・精神的にトラウマを抱えながらもわが子を育てるたくましい母たちの姿を、写真家のジョナサン・トーゴヴニクが3年間かけて撮影。その写真展が京都と東京で開催される。

●京都
 会期：12月19日(日)まで 10時半～18時半
 会場：京都造形芸術大学「ギャラリー・オーブ」(京都府京都市)
 問：ギャラリー・オーブ
 TEL：075-791-9122
 URL：aube.kyoto-art.ac.jp/

●東京
 会期：2011年1月19日(水)～2月1日(火) 10時半～18時半
 会場：銀座ニコソロン(東京都中央区)
 問：銀座ニコソロン
 TEL：03-5537-1469
 URL：www.nikon-image.com/activity/salon/

B OOK

『アフリカから学ぶ』

アフリカといえば「紛争」「貧困」「疫病」といった“負”のイメージを思い浮かべる人がまだまだ多いかもしれない。しかし、それだけでこの広大な大陸を語ることはできない。本書では、JICAやNGOなどで支援に携わってきた筆者たちが、歴史、経済、政治、文化など、さまざまな視点からアフリカを紹介。各国が抱える課題や原因の解説とともに、過酷な環境の中でも生き生きと暮らす人々の姿を伝えている。各章の後のコラムでは、宗教、芸術、スポーツほか、身近なトピックから私たちの知らない現地の様子を教えてくれる。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

峯陽一・武内進一・笹岡雄一 編
 有斐閣
 2,415円(税込)

B OOK

『国際貢献の教科書 世界を救う7人の日本人』

アフガニスタンで命を守る、ウガンダでコメを作る、ニジェールで学校教育を改善する。さまざまな課題を抱える開発途上国で、今多くの日本人が奮闘中だ。本書は、6人のプロフェッショナルの“世界を救う”姿に、ジャーナリストの池上彰さんが迫った一冊。途上国支援の最前線で活躍する彼らの仕事を紹介しながら、国際協力が援助する側・される側に何をもちたすかを分かりやすく解説し、「国際貢献」の意義を明らかにしていく。“世界を救う”7人目は、緒方貞子JICA理事長。池上さんとの対談を通じて、国際協力を実践する上での大切なポイントが導き出されている。



この本を
3人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

池上彰 編・著
 日経BP社
 1,470円(税込)